

# 『臥龍梅』 歳便り

平成二十三年五月



拝啓 青葉若葉の輝きに満ちた季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。



岩手に帰った蔵人の畠山さんから手紙が届きました。新聞の切り抜きが同封されており、**津波に耐え臥龍梅満開**の文字が目飛び込んできました。4月25日の岩手日報の記事で、「東日本大震災で津波が直撃した岩手県山田町大沢で、県指定天然記念物の臥龍梅が満開となり、被災者に希望を与えている。山田湾から約200メートル、周囲の住宅地より約3メートルの高台に根を下ろす樹齢300年の臥龍梅だが、木の半分の高さまで津波を受けたものの、持ち主の福士さんが井戸水と木酢液を掛け続けたところ、例年より1週間程度遅れて見事に花を咲かせた」とのこと。津波の猛威を改めて知らされるとともに、見事に開花した臥龍梅に東北地方復興の光明を見る思いがいたします。

東日本大震災の復興をめざして有志による様々な義援活動が展開されておりますが、次にご紹介するのもそのひとつで、日下部からご報告いたします。

4月28日、「天晴レ！日本酒 大森弾丸チャリティーツアー」に参加して来ました。このイベントは東京都品川区大森の飲食店3店「吟吟」「柏庵」「オッテイモ」が協力して開催されました。この日は基本的に立ち飲み形式です。3歳（+飛び入り）の参加蔵が3店を回り歩き、お客様と触れ合うという企画です。3店それぞれ、同蔵でも違う種類のお酒を用意しているので、お客様も3店を渡り歩く楽しみが増します。目的は1杯500円のお酒の売り上げをすべて義援金として集めること。それから、日本酒を通して皆が元気になることです。臥龍梅が参加したのは3日間行われた最終日。前日、前々日の盛況ぶりから混雑必至です。営業形態も席数も違う3店なので込み具合も違いますが、お客様は臨機応変に移動していただき、中には一晩で2周するというお客様も。皆様、本当に良い笑顔で楽しんでいただき、初めてのお客様同士も仲良く会話が弾んでいました。皆様の笑顔が日本を明るく元気にするのだと実感する夜でした。お蔭様で臥龍梅もたくさん飲んでいただきました。集まった義援金は総額130万円超。日本酒造組合に送られます。スタッフの苦労も準備段階から見えていました。本当にお疲れ様でした。参加してくださった皆様、ありがとうございました。（日下部 康徳）



さて、今月は**純米大吟醸 300ml のしずく壺**と日本晴とみつひかり混合の**純米原酒**をご案内いたします。**純米大吟しずく壺**は涼を呼ぶお洒落な水色のボトルがこれからの季節にうってつけです。**純米原酒**はコストパフォーマンス抜群の一品です。どちらもお早めにお求めください。

季節の変わり目のことゆえおからだには十分お気をつけください。

敬具

平成23年5月吉日

鈴木克昌